

医者が身近になり通院負担が軽減

- 東九州道の開通に伴い通勤時間が約30分短縮し、宮崎市から延岡市への医師の確保が可能に。
- 平成27年に診療を再開した眼科の受診者数が約6倍に増加。
- 平成28年には『呼吸器外科』が新たに診療を開始。

■宮崎県立延岡病院の医師数の推移

医師不足の解消で診療が再開

- 消化器内科の診療再開(H26年～)
- 眼科の診療再開(H27年～)
- 呼吸器外科の新設(H28年～)

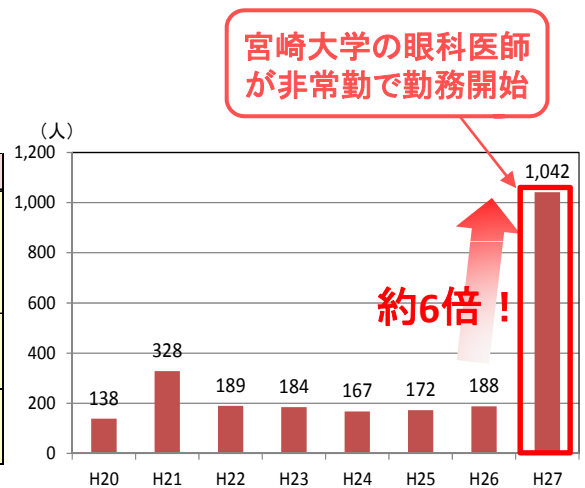
診療科	H17	H18	H19	H20	H21～H25	H26	H27	H28
消化器内科	3名	2名	2名	1名	0名 5年間休診	2名	2名	2名
眼科	1名	0名 9年間休診						
呼吸器外科					0名 H28年新設			

都農～高鍋 H24.12開通
日向～都農 H26.3開通

ヒアリング調査 H28.9

■眼科の受診者数

H26年に比べ受診者数が約6倍に増加



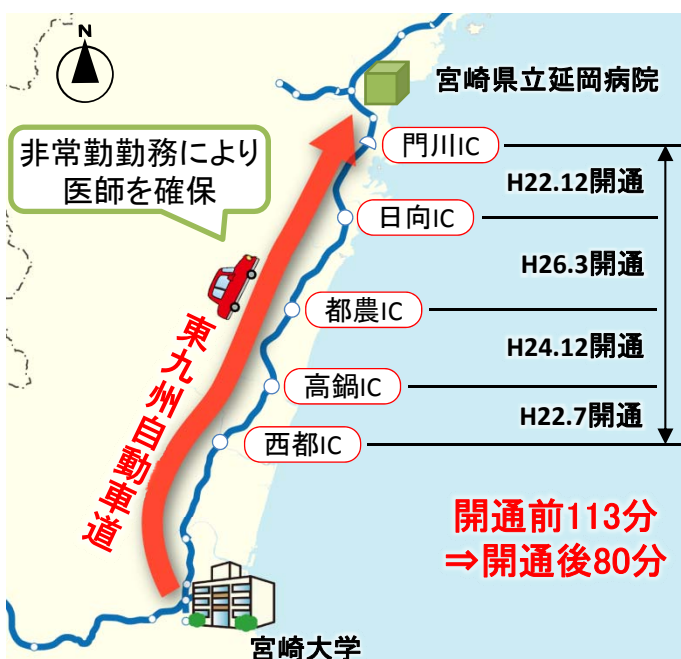
宮崎大学の眼科医師が非常勤で勤務開始

約6倍!

※H20～26年までの受診者数は不定期に派遣された医師が診療したもの
ヒアリング調査 H28.9

■宮崎県北地域への通勤圏拡大

通勤時間が約30分短縮



ヒアリング調査 H28.9



宮崎県立延岡病院職員

平成27年に宮崎大学から眼科医の非常勤派遣を開始しており、先生は高速道路を利用し通勤しています。平成28年7月には呼吸器外科も新設されています。



ヒアリング調査 H28.9